



やらざあ

Vol.135

2019年10月号

ふみだそう、福祉でまちづくり



諏訪中央病院名誉院長

かまた みのる

講師

鎌田 實先生

演題

『ほろ酔い座談会から…』

地域のつながりへ

■第3部 シンポジウム (14時30分～)

テーマ 「みんなでつくろう たすけ愛 茅野」

登壇者 鎌田實先生、緑区前区长 大月年廣氏、芹ヶ沢区长 北澤孝幸氏、社協地域福祉活動推進係 伊藤千佳子

■第4部 抽選会 (15時50分～)

シンポジウム終了後、福祉作業所等の紹介を兼ねた抽選会が行われます 主催：茅野市社会福祉協議会

後援：茅野市・福祉21茅野

入場無料



ヘルプマーク

「ヘルプマーク」をご希望の方は、茅野市役所一階の地域福祉課またはお近くの保健福祉サービスセンターにご相談ください。

「ヘルプマーク」を身につけた方を見かけたら、困っているようであれば声をかける、災害時には避難するためのお手伝いをする、電車やバス内で席をゆずるなど、思いやりのある行動と優しい声かけで、支え「愛」の輪を広げましょう。

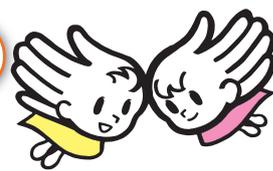
「ヘルプマーク」を身につけた方を見かけたら、困っているようであれば声をかける、災害時には避難するためのお手伝いをする、電車やバス内で席をゆずるなど、思いやりのある行動と優しい声かけで、支え「愛」の輪を広げましょう。

「ヘルプマーク」を身につけた方を見かけたら、困っているようであれば声をかける、災害時には避難するためのお手伝いをする、電車やバス内で席をゆずるなど、思いやりのある行動と優しい声かけで、支え「愛」の輪を広げましょう。

「ヘルプマーク」を知っていますか？
外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方などです。
このような方が、援助や配慮の支援を必要としているという意思表示が、「ヘルプマーク」です。



市民にとってより身近な存在としての 「社会福祉協議会」を目指して



社協の経営組織は、職員の他に、社協が行う各事業や財政なども含めた社協経営全般の意思決定や他の理事の職務の執行の監督等を行う理事会、社協の運営に係る重要事項を議決する評議員会、理事の職務の執行や社協の事業報告や決算書等を監査する監事で運営されています。

理事、監事、評議員には、広範囲の分野のみなさんに参画していただき、それぞれの団体・組織・地域の役職での立場で、共に連携、協働しながら地域福祉の推進を図っていきます。

このたび、理事及び監事の改選が行われ、新しい理事及び監事が選任されましたのでご紹介いたします。

役員(理事15名・監事3名)任期:令和元年6月25日～令和3年6月定時評議員会まで
理 事

役職名	氏 名	所属・経歴等(主なもの)
会長	金田 照俊	前茅野市社会福祉協議会経営委員長
副会長	小尾 定良	豊平地区福祉推進委員連絡会代表
副会長	小林 宏	前茅野市民生児童委員協議会長
常務理事	竹内 武	茅野市社会福祉協議会アドバイザー
理事	五味 功	区長経験者 元茅野市民生児童委員
〃	高木 宏明	諏訪中央病院副院長
〃	高村 志保	前第5次茅野市総合計画審議会副会長
〃	戸田 允文	茅野市民生児童委員協議会長
〃	知見 秀雄	茅野原地区医師会
〃	原田 泰子	この街福祉会 モモ 主任
〃	森田 勝己	老人ホーム相談センターえんむすび顧問
〃	矢崎 敏臣	前第5次茅野市総合計画審議会会長
〃	山田 周平	どんぐりネットワーク茅野代表
〃	山室 典子	R for I 代表
〃	依田 京美	どんぐりネットワーク茅野副代表

監 事

役職名	氏 名	所属・経歴等(主なもの)
監事	北原 隆幸	柳澤会計
〃	小池 幸夫	前茅野市社会福祉協議会事務局長
〃	中島 伸和	元茅野市教育委員長

みなさんと一緒に、市民にとってより身近な存在として、市民の声を反映した取組が実践できる社会福祉協議会を目指して事業を進めていきます。

「できるかな？」を「できた！」にかえる夏

夏のボランティア体験

サマーチャレンジ2019 報告

市内21ヶ所の福祉施設等で小学5年生から専門学校生まで66名のみなさんが参加し、ボランティア活動を体験しました。



「塩つぼの湯デイサービス」で体験

今までこのような活動に参加したことが無かったので、最初は緊張して何もすることができませんでしたがお役に立つことが出来た時「ありがとう」などの言葉をかけていただき嬉しかったです。

♡茅野北部中学校 川崎友徳さん

たくさんの地域の高齢者と話すことができ、コミュニケーションが取れました。職員の方たちはテキパキ動いてすごいいいと思いました。

♡茅野北部中学校 篠原柚希さん



「グループホームせせらぎの家」で体験

お話してくれる内容が簡単にわかる高齢者と、わかりにくい高齢者がいることがわかりました。施設の夏祭りの準備を手伝いましたが、「早く夏祭りの日になればいいな!」と、寝る前にワクワクした気持ちになりました。洗ったマグカップを拭くなどの、昼食のお手伝いもしました。

♡玉川小学校 小澤優奈さん

「茅野聖母幼稚園」で体験

服を脱いだり着たりする時やトイレの時困っている園児さん達を、たくさん手伝えることが出来ました。ただ園児さんを預かるだけではなく、ご飯を食べているのか、ケガをしないか、など細かい所まで見ていないといけないうので大変な仕事だけれど、素敵な仕事だと思いました。

♡茅野永明中学校 下向華歩さん

「宮川・宮川第二保育園」で体験

(宮川第二保育園が改修工事のため)

保育士さんはいつも笑顔で明るく、私も笑顔になれました。小学校へ行くまでに基礎を身につけ、小学校に行っても困らないように教えていて、すごいいいと思いました。

読み聞かせをさせて頂いた時、緊張していたけれど反応してくれて嬉しかった。先生方には大変お世話になりました。3日間幼児と過ごし、読み聞かせした体験を通して、将来への気持ちがより強くなりました。

♡茅野東部中学校 日下部杏佳さん

来年はあなたも体験してみませんか

塚原区ボランティアの会では、こんな課題が・・・

若い人も参加できるけれど、みんな知っているかなぁ。
最近おなじ顔ぶれが多いなぁ。



そこで、こんなかくし味(工夫)を!

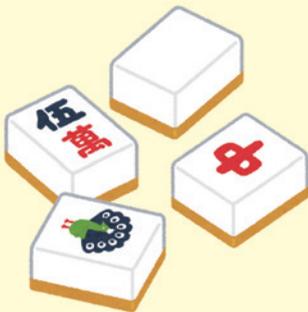
- ・1年のはじめに、年間の行事を回覧で回してみた。
- ・民生委員がチラシを持って参加者のおうちを訪問してみた。
- ・サロンの数日前には電話をかけて、言葉で伝えてみた。

実際にやってみて

- ・参加者の幅が広がり、男性が参加しやすくなったね。
- ・サロンをお互い様の場にしていきたいね。

塚原区の中では、こんな課題が・・・

最近、家から出なくなつて、足腰が弱つたり、認知症にならないか心配。
みんなで、たのしく、健康になれることないかなぁ。



そこで、こんなかくし味(工夫)を!

- ・高齢者クラブの有志で塚原区健康脳トレマージャンクラブを立ちあげた。
- ・いろいろな方に来てもらうため、高齢者クラブのお便りに載せたり、口コミで「たのしい」と宣伝してみた。

実際にやってみて

- ・麻雀は素人で、なかなか覚えられないが、とにかくたのしいよ。
- ・みんなが健康に…そんな場所がたくさんできるといいな。

交流会では、上記の団体のほかに、塩沢区つくしの会ではお料理について、宮川ボランティア愛の会からはお金の使い方などのかくし味(工夫)を発表していただきました。



地域の中で支え合い活動やサロン活動、自分の特技を活かした活動を始めてみたいな…と考えている方は、各地区の生活支援コーディネーターまでお気軽にご相談ください。交流会の中で話し合われたようなことを、地域の中でもできたらいいなと考えています。

問合せ ★西部(宮川・金沢) 82-1328 ★中部(ちの・米沢・中大塩) 82-0360
★北部(湖東・北山) 77-3172 ★東部(玉川・豊平・泉野) 82-1521

サロンのかくし味 ししょくかい 知食会



サロン活動は、自宅から歩いて行ける場所に気軽につどい、みんなで話をしたり、ゲームをしたり、楽しく交流する活動です。今回は、市内で行われているサロンのかくし味(工夫)をご紹介します。自分たちの鍋(サロン)の参考にさせていただくことを目的に、市内でサロン活動をされている方、これから活動を始めた方と考えている方に参加いただき、開催いたしました。

交流会で話し合われた**課題**と**工夫**、**実際に取り組みを行った感想**をまとめました。

金沢地区社会福祉協議会では、**こんな課題が**・・・

サロンの送迎、事故等あった時が心配・・・

そこで、こんなかくし味(工夫)を！

・タクシーの乗り合いで送迎をやってみた。



実際にやってみて

- ・事故等の心配が無くなってよかったよ。
- ・乗り合いだと意外とタクシー代が安いよ。



小泉区ボランティアの会では、**こんな課題が**・・・

ボランティアの会のメンバーが高齢化して、ボランティアの会だけで世代間交流を続けていけるか心配。

そこで、こんなかくし味(工夫)を！

- ・育成会と相談して子どもたちと一緒に準備をしてみた。
- ・開催時期を夏休みにしてみた。



実際にやってみて

- ・育成会の協力で役割分担ができ、続けていけそう。
- ・育成会の人や子どもたちと顔見知りになれた。

御狩野区すずらんの会では、**こんな課題が**・・・

サロンに男性の参加を増やすためには？

そこで、こんなかくし味(工夫)を！

- ・区の役員経験者に「ちょっとお願い、助けて」と声掛けをして男性にボランティアメンバーになってもらった。
- ・得意なことや趣味を持っている人を探した。



実際にやってみて

- ・サロンに何らかの形でみんなが参加するサロンになった。
- ・サロンに必ず、男性が居れば安心して参加できる。

赤い羽根共同募金で子どもたちの福祉の心が育まれています。

赤い羽根共同募金の配分金で、市内小・中・高等学校の児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てる「社会福祉普及校指定事業」を実施しています。今回は、茅野高等学校が長年取り組んでいる「やすらぎ喫茶」をご紹介します。

「やすらぎ喫茶」は、平成8年当時の生徒会長の「福祉施設に行ってボランティアをしたい!」という言葉から生徒会を中心に有志が集まり、お菓子を持って施設を訪問するところからスタートしました。諏訪中央病院に隣接する「ふれあいの里」「やすらぎの丘」の2カ所を訪問していますが、利用者の方々に手作りお菓子を配りながらコミュニケーションを図り高齢者と触れ合うことで、命の尊厳や人への思いやりを学ぶことを目的にしています。現在「やすらぎ喫茶」は保健福祉委員会が引き継いでいます。



訪問当日に持って行くお菓子は、施設の利用者のことを考え、飲み込みやのどごしが良いお菓子を家政部の協力を得て試作し、先生方に試食していただき決めています。その他、華道部によるフラワーアレンジメント、吹奏楽部の演奏、生徒会有志の合唱、図書委員会による読み聞かせ等、それぞれ計画を立て練習と準備をします。

当日は手作りのお菓子をお一人お一人に声をかけながらお渡し、さらに召し上がっている時にも、「お口に合いますか?」などの声がけをしています。「とっても美味しいよ」「わざわざ来てくれて有難うね」などと言われると、本当に嬉しくなります。会話ができない利用者の方がタブレットでお礼のメッセージをくださった時は、大変感激しました。

華道部が作成したフラワーアレンジメントは各フロアに飾るとのことで、施設の配慮でお一人指名していただき、急遽贈呈式を行ったこともありました。予定にはなかったことでしたが、利用者の方々から拍手をいただき、「きれいですね!」「ありがとう!!」と言っていただきました。



「やすらぎ喫茶」で施設を訪問するまでは「面倒くさいな」という保健福祉委員もいますが、実際に訪問してみると、「行って良かった」「また機会があれば行きたいので、来年も保健福祉委員になりたい」という感想が出されています。

このように平成8年に始まった「やすらぎ喫茶」は、当時の形を変えながら後輩に受け継がれてきています。

今年も、赤い羽根共同募金に、ご協力をお願いいたします。

みなさんの募金の約60%は茅野市の福祉活動に活用されています。



みなさんからご協力いただいた募金は、茅野市を良くする活動のために使われています。募金の約60%は、茅野市内での福祉活動に、残りの40%は長野県内の福祉活動・防災活動等に役立てられています。

令和元年度(平成31年度)

第2回

ボランティア活動助成金 説明会を開催します

みなさまから寄せられた赤い羽根共同募金の配分金を財源とした「茅野市社会福祉協議会ボランティア活動助成金」の今年度第2回目の説明会を開催します。本助成金を希望する団体・グループは、必ずご出席ください。



- 対 象 本助成金の今年度第1回目の交付を受けていない団体・グループ
※出席される方は団体・グループのメンバーであれば代表者でなくてもかまいません。
- 日 時 10月15日(火) 午後7時～8時
- 場 所 茅野市ひと・まちプラザ3階 301・302会議室
- 問合せ 茅野市社会福祉協議会 TEL 73-4431 地域福祉活動推進係

移送サービス運行協力員(運転ボランティア)急募!

茅野市社会福祉協議会では、心身の障害等のため、一人でバスやタクシーなどの公共交通機関を利用することが困難な方を支援するため、車イスのまま乗れる車両による移送サービスを実施しています。この車両の運転と乗降の補助をしていただける運行協力員を募集しています。

女性も大歓迎です!



募集要件 市内在住で自動車の第二種免許もしくは普通免許をお持ちの方で、福祉に理解と熱意のあるおおむね65歳未満の方(普通免許の方は所定の講習を受講していただきます)。

活動日時 月～金曜日の午前8時30分～午後5時まで、ご都合のつく曜日、時間(祝日・年末年始の活動はありません)。活動日や時間は、事前に確認し日程調整をさせていただきます。

活動報酬 本会の規定に基づいてお支払いします。

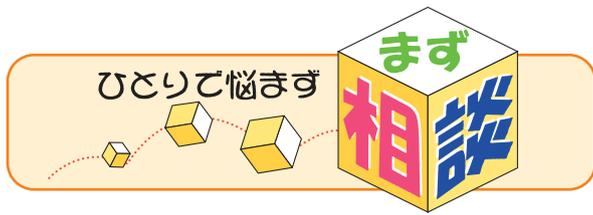
申込・問合せ 茅野市社会福祉協議会 TEL 73-4431 担当:伊藤 北原

今年も『ひとにぎりのお米(支援米)』を募集します!!

不況やリストラ、倒産などの影響から野宿生活を余儀なくされている方々等を支援するため支援米を募り、各支援団体や市内の生活で困っている世帯に送る予定です。

- 期 間 10月15日(火)から12月6日(金)まで
- 受 付 茅野市社会福祉協議会 事務局《茅野市ひと・まちプラザ2階》
※お米は直接、社協事務局へお持ち下さい。
- 受付物 うるち米(新米、玄米、古米は30年度産のもの)
※粳での受付はできません。
※もち米と、野菜については事前にお問い合わせください
- 送付先 SOSネットワーク諏訪、NPO法人おおぞら(大阪府)
反貧困ネットワーク長野、市内で生活に困っている世帯 等
- 問合せ 茅野市社会福祉協議会 TEL 73-4431 日常生活支援係





人生には様々な悩みがあります。

「誰にも相談できない」

「どこに相談したらよいかわからない」

そんなときは、まず社協にお電話ください。

すべての相談会場は

**社協相談室（茅野市ひと・まちプラザ2階）に
なります。 TEL 73-4431**

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

（精神保健福祉士が対応）

結婚相談

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士

社協広報紙 **やらがま** Vol.135

2019年10月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらがま編集委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

・6年間要介護5の夫を在宅介護いたしました。周りの方々の温かい支援があったればこそです。感謝しております。
（玉川 60代 女性）

・数年前までは、ボランティア活動をしていましたが、現在ではボランティアのお世話になっています。「玉川地区社協」の皆さんががんばっていてくれ、いろいろな催しに参加させてもらい、大変うれしく思います。これからもよろしく願います。
（玉川 80代 女性）

・クイズの難易度がちょうどいいですね。複数クイズがあるともっと楽しめると思います。
（泉野 30代 女性）

・良い頭の体操になりました。ありがとうございました。
（北山 70代 女性）

・社協会費について、分かり易いようでちょっと首をかしげ、ちゅうちょする方も…。隣組長として集金するときに実感しましたが、今回の丁寧な解説は、大変よかったです。
（ちの 80代 男性）

・実家の母に足腰が弱くなってきたので、「転ばないように!!」と言っていたら、となりにいた私の娘に「お母さんもだよ!!」と言われ、私も人のことを言えないなあ～と実感しました。
（玉川 60代 女性）

今回は
川柳

あなたが感じる幸せな瞬間



あなたが日常の中で感じる幸せな瞬間を
川柳にしてください。（一人一首まで）

応募要領

川柳、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらがまの感想、つぶやきなど一言添えて社協（やらがま編集委員会）までお送りください。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。応募者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り 令和元年10月16日(水)

前回のクイズの答え 花火

当選者

濱今朝満さん（宮川） 原田元子さん（玉川）

畑温子さん（泉野）

当選された方には図書カードをお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 **やらがま** の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。